



『SC』は シルバー人材センター、 『県シ連』は 鹿児島県シルバー人材センター連合会、 『全シ協』は 全国シルバー人材センター事業協議会  
 『高齢法』は 高齢者等の雇用の安定等に関する法律の略です。 ☎ 0996-52-3363

## コロナ禍3年目の初夏彩る！



青葉若葉を爽やかな風が吹き渡るこの頃、会員並びに関係各位にはお健やかに暮らしのこととお慶び申し上げます。ゴールデンウィークはいかがお過ごしのことだったでしょうか。

事務局だより 2021年5月号で、「竹林公園に58mの藤棚出現！」と紹介しましたが、コロナ禍を余所目に今年は可憐な花を咲かせました。

宮之城歴史資料センター側から竹林公園への動線にあります。紫の花房と新緑のコントラストが爽やかな風を吹かせながら竹林公園へ、また竹林公園から県立公園にいざない、まさしく藤の花言葉“歓迎”を肌で感じることができました。

制作作業と植栽に就業された剪定班の中島朗さんが、「咲いたどお」と事務所に喜びの報告がありましたが、シルバー会員の知識と技能が咲かせた花を見るときに感慨深いものがありました。来年は房も大きく長くなり更に映えることでしょう。今後の成長が楽しみです。

シルバー人材センターのキャッチコピーに、「人生を一毛作から二毛作に！」という謳い文句がありますが、新たな自分を活かす場、シルバー人材センターで、人生にもう一花咲かせるとともに、自分の周りに花を咲かせる素晴らしいセカンドライフに、拍手！

### 1 新会員の紹介！

4月の入会者を紹介します。女性二人の入会がありましたが、3月31日付で数名の退会があったため、5年度のスタートは男性192人、女性110人、計302人になりました。

これから先11ヶ月、新会員の確保に努め第3次中期計画の目標数値の313人を超えられるよう、会員一人一会員運動の推進をよろしくお願いいたします。

No	新会員氏名	地域班(公民会)	年齢	性別	入会日	紹介会員氏名(地域班)
1	小椎八重 育子	紫陽班(大薄下)	72	女	R5.4.5	黒木 洋子(宮之城屋地2班)
2	鍛冶屋 君子	薩摩班(弓之尾)	71	女	R5.4.18	渡邊 久江(船木班)

## 2 5月の入会説明会！



5月16日(第3火曜日) 9時からセンターで実施

見るだけ、聞くだけでも結構です。仲間をお誘いください。

2023年 5月							May
日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	
30	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31	1	2	3	

## 3 令和5年度定時総会お知らせ！ ~ コロナ前の通常形式で開催 ~

令和5年度定時総会  
5月27日(土)、午前9時開会、宮之城ひまわり館

With コロナの下に、コロナ発生前の会員全員の出席をお願いする形式で開催します。また、当日は会員互助会の総会も行いますので、万障お繰り合わせの上、ご出席ください。スケジュールに入れておいてください。

なお、With コロナの実践として次のことについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

①マスクは個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねていますが、会場内では着用をお願いします。②会場入り口の検温器、自動消毒器の利用をお願いします。③当日の朝、発熱及び体調不良の場合は出席を控えてください。

正式な案内は、別途通知（郵送）いたします。

## 4 令和4年度事業実績確定！

SCの基盤となる会員拡大と就業機会の拡大は次のような実績を納めました。

会員数は300人となり前年度を9人下回り、平成30年度からの連続増加記録が途切れましたので、ちょっと残念な思いがあります。また、右肩上がり傾向にシフトできるよう、会員一人一会員確保運動の推進をはじめ会員拡大に努めたいと思います。

就業機会の拡大については、受託事業の契約額が対前年度103.6%で、コロナ禍においては良好な実績を納めました。

労働者派遣事業においては、2年度・3年度ともに大きく落ち込んでいた契約額が、4年度は12ヶ月全てにおいて前年度を上回り、対前年度116.9%でコロナ禍からの回復基調が現れました。

会員一人ひとりの就業の積み上げ及び社会貢献の結果と成果です。ご苦勞様でした。深く感謝申し上げます。

区 分		令和3年度	令和4年度	対前年度増減
受託事業	会 員 数	309人	300人	△9人
	男性	202人	192人	△10人
	女性	107人	108人	1人
	受注件数	2,167件	2,210件	43件
	受託件数	3,236件	3,282件	46件
	契約金額	127,541,514円	132,158,216円	4,616,702円
	就業実人員A	230人	225人	△5人
	就業実人員B (*うち派遣)	248人 (18人)	253人 (28人)	5人 (10人)
	就業延人員	21,991人	22,255人	264人
	就業率 A	74.4%	75.0%	0.6%
	就業率 B (*派遣含む)	80.3%	84.3%	4.0%
派遣事業	登録会員数	87人	92人	5人
	受注件数	44件	39件	△5人
	受託件数	232件	230件	△2件
	契約金額等	28,610,998円	33,457,456円	4,846,458円
	就業実人員	72人	72人	0人
	就業延人員	5,429人	6,025人	596人



## 5 4月 幸先よく『緑十字』でスタート！



センターの玄関には、安全就業を意識し、確実に確保と確認をするために、事故ゼロ日を重ねることで緑十字を完成させるようにしています。令和5年度スタートの4月、就業中による事故はなく、幸先よく緑十字を完成させることができました。

実は、当センターにおける就業中の事故は、昨年10月1日から発生していません。

したがいまして、5月10日現在で無事故連続記録は220日となっており、緑十字も7ヶ月(回)完成しています。これからも緑十字を重ねて、節目の目標である無事故連続記録365日を目指しましょう。

令和5年度の安全就業スローガンは、『確認で 誰でも出来る 事故防止』です。仕事ははじめの安全就業意識を集中し、自分と仲間の安全安心を確保しましょう。



**緑十字** 「りよくじゅうじ、みどりじゅうじ」とも言いますが、日本においては安全及び衛生の象徴として用いられる緑色の十字のマークです。



## 6 令和5年度会費についてお願い！

令和5年度の会費は、大半の会員が3月の地域班会のときに納めていただいています。その後、センターの方に納められた方もありますが、未納の方につきましてはセンターまで納入方、よろしくお願いします。

定時総会の受付時にも徴収しますが、混雑しますので、出来るだけ事前の納入をお願いいたします。

## 7 春の交通安全運動とともに安全就業の確保！

春の交通安全運動が実施されます。運動の重点項目は「子どもを始めとする歩行者の安全の確保」が第一に掲げられています。

シルバー事業の安全就業の確保とシルバー保険の対象は、就業における往復途上の交通事故等も対象にしています。したがいまして、交通安全の意識とともに安全就業の意識を高くもたれ、安全安心の確保に努めてください。

◆交通安全運動の実施期間 5月11日(木)～20日(土)

◆運動の重点事項

- ①子どもを始めとする歩行者の安全の確保 ②横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上 ③自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



## 8 セーフティ・チャレンジ交通安全コンテストに参加しませんか！

◆募集期限 5月31日(水) ◆コンテスト期間 6月1日(木)～10月28日(土)

◆一般ドライバー部門：運転免許保有者5人一組

◆熟年ドライバー部門：運転免許保有者(申込時満60歳～69歳)2人一組

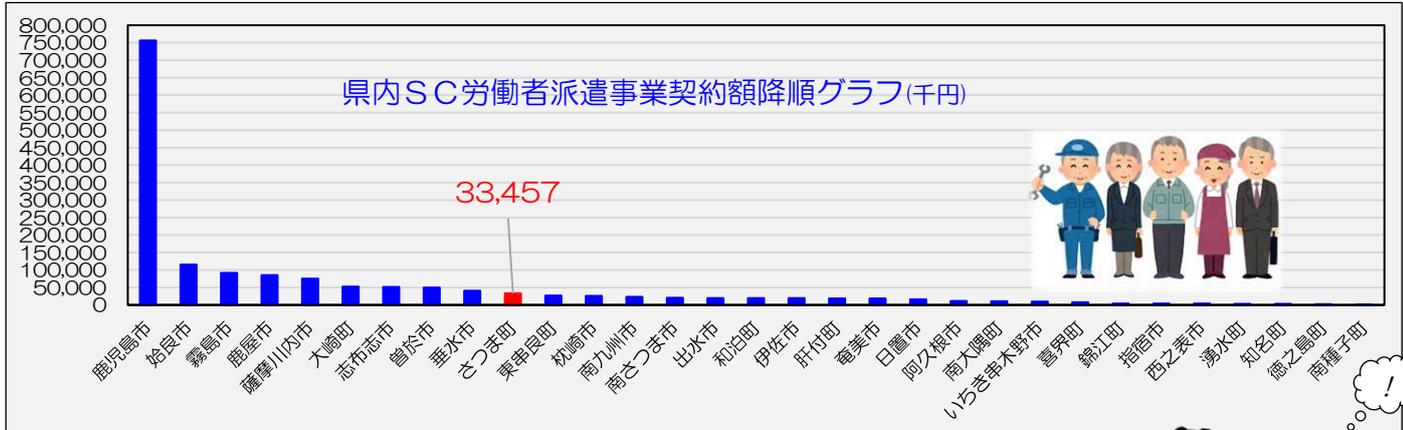
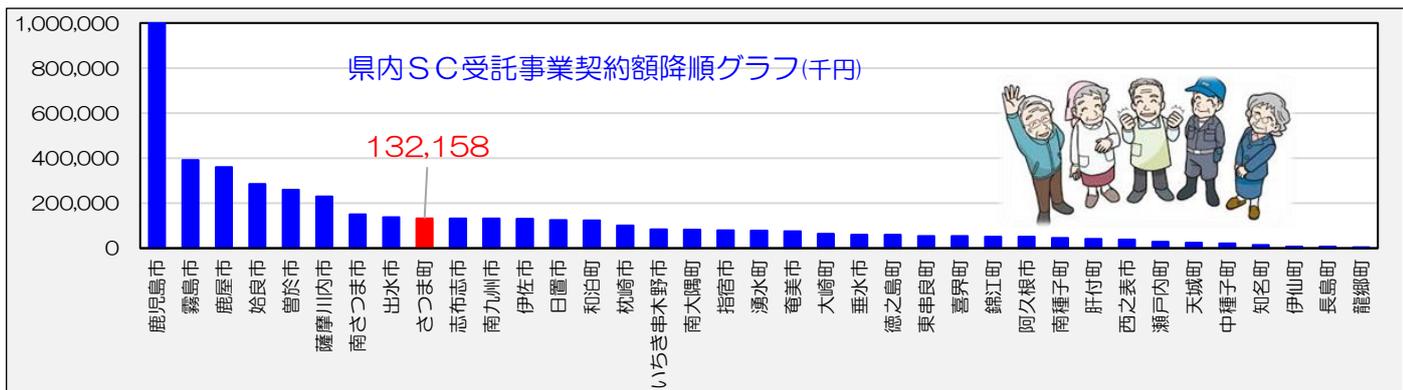
◆高齢ドライバー部門：運転免許保有者(申込時満70歳以上)2人一組

※70歳以上と60歳～69歳で編成する場合は、熟年ドライバー部門となります。

申込方法	交通安全協会、安全運転管理協議会、警察署等に備えてある参加申込書に参加料を添えて、交通安全協会窓口を通じて申し込んでください。 ◆参加料は、無事故無違反を確認するための運転記録証明書交付申請手数料の1人当たり670円です。
副賞	無事故無違反を達成したチームの中から抽選で、北海道旅行：各人15万円相当(一般D部門)、温泉旅行：各人7万円相当(熟年D部門)、温泉旅行：各人5万円相当(高齢D部門)のほか、商品券等多数の副賞があります。 ◆目標達成チームに対する副賞 ★旅行券・商品券など2,438本 ★協賛企業からの特別賞40賞品 ★団体優秀賞2団体
SCのお世話	センターで申込みのお世話をしますので、参加希望の方はチームを編成されて、センターに申し出てください。なお、手続きの関係上、申込期限を5月19日(金)としますので、ご理解とご協力をお願いします。交通安全と安全就業の確保にチャレンジしましょう。

## 9 4年度事業実績に見るセンターの存在！

県内には37の拠点センターがあり、受託事業は全てのセンターが、労働者派遣事業は31センターが実施しています。他センターとの比較ができるようにグラフ化しましたので、ご覧ください。



## 10 「囲碁同好会」発足会員募集！

現在、会員互助会には、「カラオケ／グラウンドゴルフ／旅行／ゴルフ／女子会」の5つの同好会がありますが、この度「囲碁同好会」をつくりたいとの提案がありました。

発起人は、宮之城屋地2班の橋之口幸男会員と川内守雄会員のお二人です。

囲碁を打つ人は少なくなりつつあると言われますが、やはりこの文化は日本からなくなってほしくないものの一つでありますね。SC会員の年齢層から考えると、今まで囲碁同好会が無かったのが不思議なぐらいです。じっくりと相手の心理を読む交流・仲間づくりもいいのではないのでしょうか。

勝ったかも…？



- 活動予定** ◆月例会：月2回(第1・第2土曜日の午後) ◆大会：年2回(春季4月・秋季10月)  
◆場所：センター2階会議室 ◆会費：年会費1,000円、月例会の参加費100円/回

発起人からのお誘い「囲碁を楽しみながら、右脳を使って、認知症予防と進行防止、また、ストレス解消、脳のリハビリ効果を図りながら、囲碁の無限の深さ楽しさをみんなで共有し過ごしましょう。」とのこと。

また、これから囲碁を始めたい方、初級者大歓迎とのこと。会員互助会からは会員数に応じた助成金もありますので楽しめると思います。囲碁同好会入会希望の方は、センターまで申し込んでください。